

## 主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語】

### 1. 対象 1年生

小中で継続して対話を重視した授業構想に取り組んでいることもあり、生徒自身も対話活動に慣れている。一方で、内容の解釈に根拠が十分であるとは言えず、場面と描写を結びつけて考えたことを発言することや、比べながら深めることには課題がある。話し合いのよりよい仕方を支援しながら、描写を根拠に生徒同士が発言をつなげ、学びを深めていく姿を目指している。

### 2. 単元名 「空中ブランコ乗りのキキ」(全5時間)

### 3. 単元で育成を目指す資質・能力

<b>知識及び技能</b>	原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解している。
<b>思考力, 判断力, 表現力等</b>	読むことにおいて、場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈できる。
<b>学びに向かう力, 人間性等</b>	粘り強く、原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解しようしたり、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えたりしようとしている。

### 4. 授業展開【 本時 単元 】

#### 解決したい課題や問い

白い大きな鳥が悲しそうに鳴いているのはなぜだろう。

考えるための材料A	考えるための材料B	考えるための材料C	考えるための材料D
・キキが4回宙返りに挑んだのはなぜか読み解く。	・キキが4回宙返りをしたことに後悔があるのか読み解く。	・人物関連図	・単元計画の配付
想定される活動	想定される活動	想定される活動	想定される活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キキにとって観客からの拍手こそが生きがいであり、だからこそ人気を失うことに不安を感じていると考える。</li> <li>・キキは人々の評判の中でこそ幸せであり、これまでのように拍手をもらえなくなってしまうことを何よりも恐れていると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キキはおばあさんからもらった薬で死ぬことを分かっている、その上で成功したので後悔していないと考える。</li> <li>・成功し、町の人々は大いに感動し声をあげたが、キキがいなくなっても気付かれなかったことに傷ついているから後悔していると考え。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キキが町の人たちに期待されていることに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の見通しを持ちながら学習を進め、やるべきことが明確になる。</li> </ul>

## 対話と思考(対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)

### 対話の方法(グループ形態、時間設定、留意事項など)

- ① 話し合いで解決する問いを中心に、一人で学ぶ時間を2時間程度設定する。
- ② 座席を円形にし、全体で話し合う。
- ③ 発言しやすくするため、適宜、近くの数人で相談できる時間を設定する。
- ④ 発言を復唱させる、内容の確認など、教師の出を少なく留める。

※ 根拠のある発言、流れに沿ってつないだ発言、整理する発言など、よい話し合いにつながる現れは、その良さを教師が伝える。

### 対話や思考のプロセス

[材料A]

(キキは人々の評判の中でこそ幸せであり、これまでのように拍手をもらえなくなってしまうことを何よりも恐れていると考える。)

[材料B]

(キキはおばあさんからもらった薬で死ぬことを分かっている、その上で成功したので後悔していないと考える。)

▶白い大きな鳥はキキじゃないと思う。キキは、4回宙返りしたら死ぬことを覚悟していたから「悲しそうに」する必要がないと思う。▶もしかしたらキキだったのかもしれない」とうわさしているから、キキなんじゃないか。▶うわさしているだけでは、根拠にならないと思うよ。▶じゃあなんでこの鳥は「悲しそうに」しているのかな。▶悲しむとしたらやっぱりキキじゃないかな。本当は死にたくなかったとか。▶でも、キキはどうしても4回宙返りをしたかったんだよね。「拍手してもらえないくらいなら、私は死んだほうがいい」とまで言っているよ。▶4回宙返りに成功したとき、誰も気付かなかったのはなぜなんだろう。▶拍手をもらって、「涙を流しながら」人々は見えてくれたとあるから、嬉しくて気付かなかっただけじゃないかな。▶そうかもしれないけど、人々が4回宙返りに関心があっただけで、キキに関心があるわけではなかったということなんじゃないかな。▶キキの「鳥でもない限り4回宙返りなんて無理」や「白鳥」「白い魂」「大きな白い鳥」などの描写が伏線になっているともいえないかな。

## 学習の成果(予想される生徒のあらわれ)

- ・白い大きな鳥はキキだと思う。理由は、本文中の「鳥でもない限り4回宙返りなんて無理」や「白鳥」「白い魂」「大きな白い鳥」などの描写が、鳥になる伏線になっていると思うからだ。また、4回宙返りをしたのになくなったことに誰も気付かなかったことは、人々が自分自身へ関心があったのではなく、4回宙返りが見たかっただけだと感じたから悲しそうに鳴いたのだと思う。
- ・白い大きな鳥はキキのお父さんだと思う。「大きな」は、キキのイメージとはかけ離れているように感じた。また、悲しそうに鳴いているという表現は、「死んでもいいんです」とまで言っているキキとは合わない。それよりも、同じように空中ブランコ乗りだった父が、死んでしまったキキの姿に悲しそうにしているのではないかと感じた。